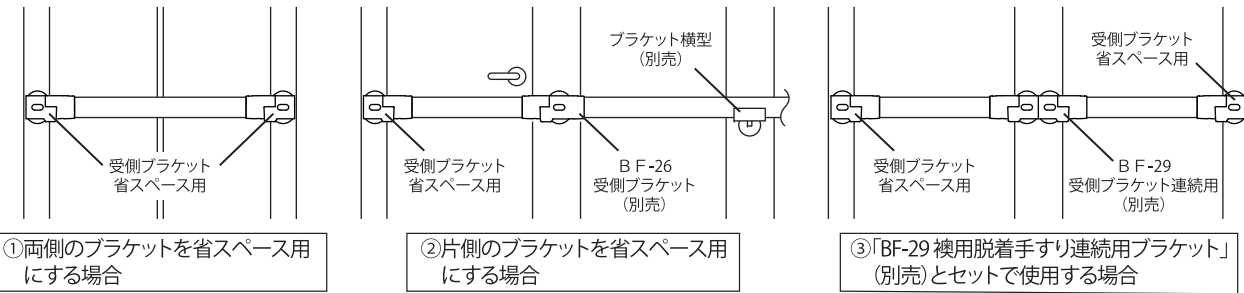


# 襖用脱着手すり省スペース用ブラケット 施工説明書 BF-30

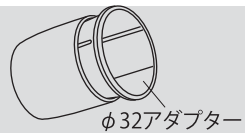
襖用脱着手すり省スペース用ブラケットは、「BF-26襖用脱着手すりブラケットN(別売)」の受側ブラケットでは取付けるスペースが狭く、取付けできない場合(下図参照)に対応する省スペース用のブラケットです。



安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

## 施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。
- 35・32シリーズ木製手すり(ホワイトアッシュ)をご使用の場合、ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 900mmより広いピッチでご使用の場合は必ず当社指定の手すり棒をご使用ください。
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。



## 襖用脱着手すり省スペース用ブラケット[BF-30] 梱包部品図

1 受側ブラケット省スペース用	2 エンドキャップ 省スペース用	3 キャッチソケット	4 φ32アダプター
<p>左右兼用タイプ 六角穴付きM6ボルト</p> <p>ラッチソケット 省スペース用</p> <p>ハネ座金</p> <p>脚金具 省スペース用</p> <p>ラッチソケットキャップ</p> <p>図は左用</p>	<p>※出荷時は受側ブラケット 省スペース用に嵌まっています。</p>	<p>※出荷時はキャッチソケットに セットされています。</p>	<p>※出荷時はキャッチソケットに セットされています。</p>
5 スペーサー省スペース用	6 ブラケット取付けねじ	7 手すり取付けねじ	8 金属手すり取付けねじ
<p>厚さ 4mm</p>	<p>※取付けの際には壁にφ3 程度の下穴を空けてください。</p> <p>⊕丸皿タツピンねじ3.5×40</p>	<p>※取付けの際にはφ3程度 の下穴を空けてください。</p> <p>⊕丸皿タツピンねじ3.5×20</p>	<p>※襖用脱着手すり棒専用</p> <p>⊕皿ドリルねじ3.5×19</p>

## 襖用脱着手すり省スペース用ブラケット[BF-30] 梱包部品一覧

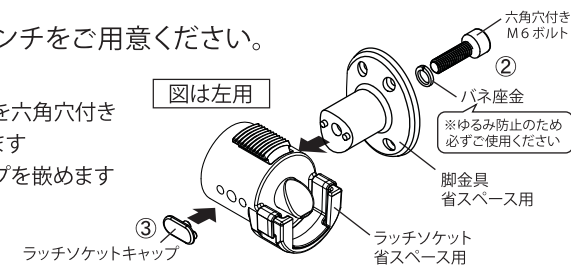
番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット 省スペース用(ラッチソケット省スペース用・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
	受側ブラケット 省スペース用(ラッチソケットキャップ)	POM	1個
2	エンドキャップ 省スペース用	ABS	1個
3	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
4	φ32アダプター	ABS	1個
5	スペーサー 省スペース用	ABS	1個
6	ブラケット取付けねじ ⊕丸皿タツピンねじ3.5×40	鉄製	4本
7	手すり取付けねじ ⊕丸皿タツピンねじ3.5×20	鉄製	2本
8	金属手すり取付けねじ ⊕皿ドリルねじ3.5×19	鉄製	2本

## 受側ブラケット省スペース用 組立て手順

取付け側に合わせて受側ブラケット省スペース用を組立てて ください。

※対辺5の六角レンチをご用意ください。

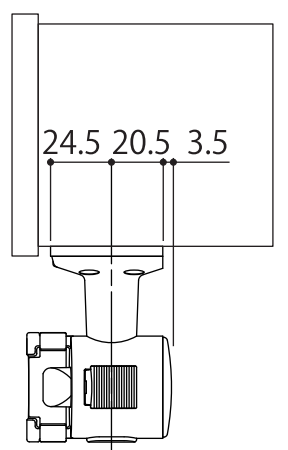
- ①左右を決めます
- ②脚金具省スペース用を六角穴付き M6ボルトで固定します
- ③ラッチソケットキャップを嵌めます



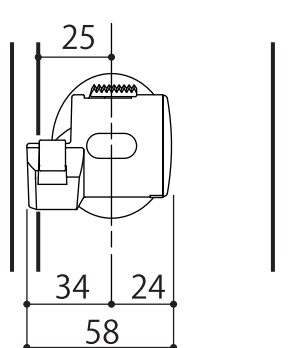
⚠ 六角穴付きM6ボルトは確実に締め込んでください。  
注意 確実に締め込めていない場合、使用時ケガにつながる恐れがあります。

## 受側ブラケット省スペース用 取付け図

[上から見た図]

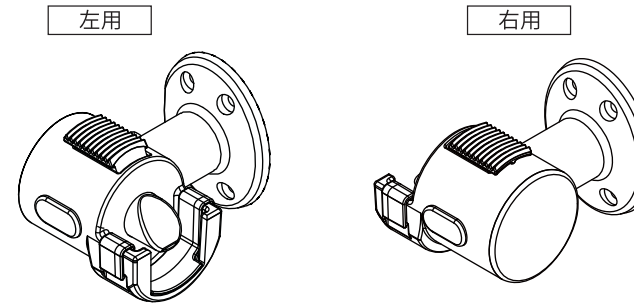


[正面から見た図]



## 受側ブラケット省スペース用 外観図

脚金具 省スペース用を付替えることで、左右兼用できます。



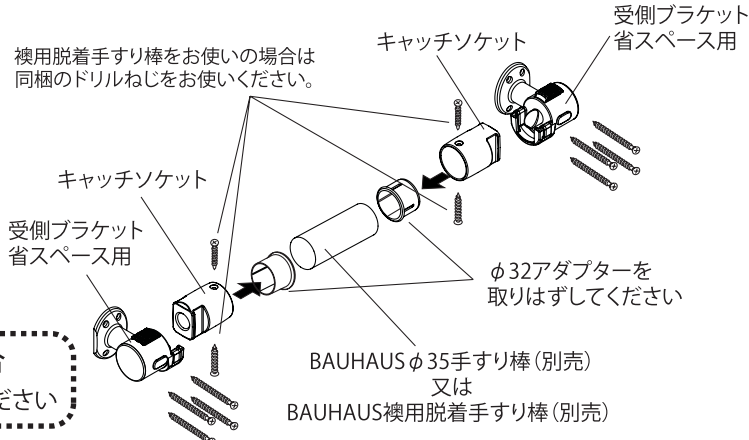
お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

# 施工手順

## ① 両側のブラケットを受側ブラケット省スペース用にする場合

※本製品が2セット必要です。

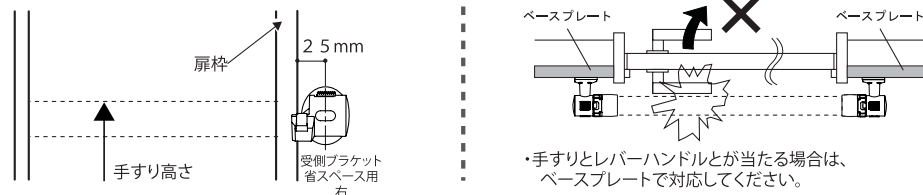
■ φ35手すり棒を取付ける場合



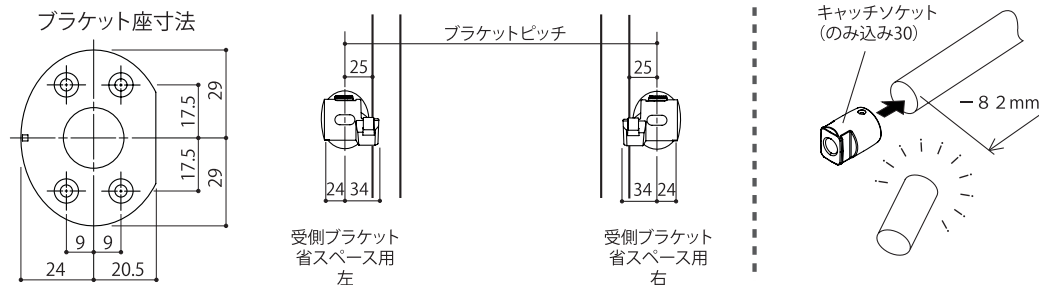
■ φ32手すり棒を取付ける場合

● φ32アダプターを外さないでください

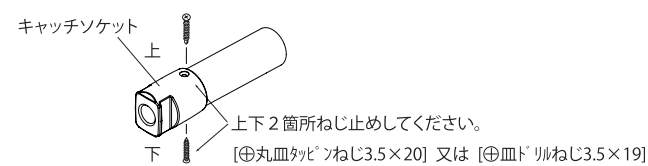
1. 片方の受側ブラケット省スペース用を取付けます。(説明では右を先に付けます)  
扉枠からブラケットのセンターピッチで2.5mm以上取ってください。  
レバーハンドルなどに手すり棒が当たる場合は別途ベースプレートで対応してください。



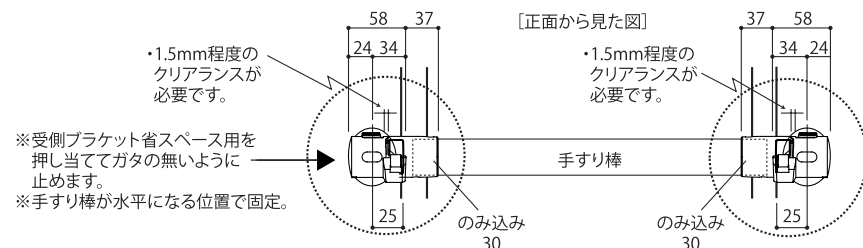
2. ブラケットピッチを決めて手すり棒をカットします。  
手すり棒長さ=ブラケットピッチから、-8.2mmカットします。



3. 片方のキャッチソケットを差し込み、手すり棒とねじ止めしてください。  
(袖用脱着手すり棒の場合は、ドリルねじを使用してください。)



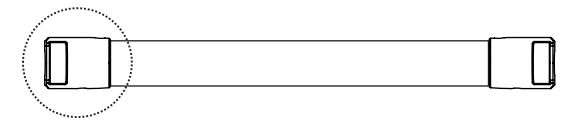
4. 左側の受側ブラケット省スペース用を取付けます。  
もう片方のキャッチソケットを手すり棒に差し込み、両端を受側ブラケット省スペース用にセットして、手すり棒が水平になる位置で、先に受側ブラケット省スペース用をねじ止めします。  
注)両側の受側ブラケット省スペース用の上下位置を合わせ、ねじれ位置にならない様に止めてください。



お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

5. 受側ブラケット省スペース用を取付けた後、もう片方のキャッチソケットをねじ止めします。

キャッチソケットの固定位置を左右対称に止める。



6. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

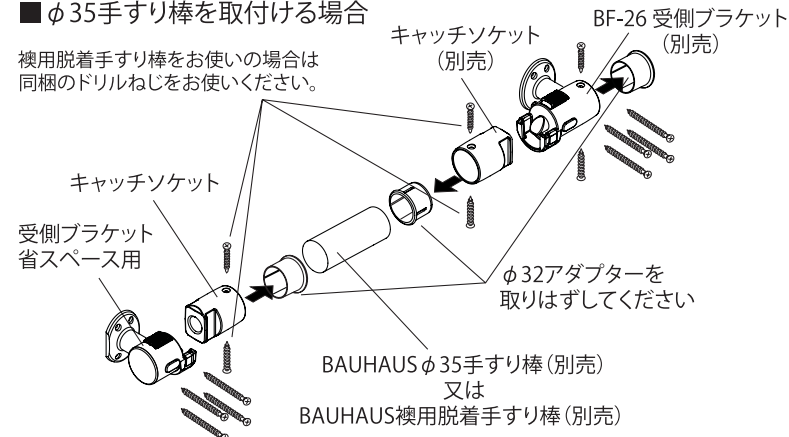
## ② 片側のブラケットを受側ブラケット省スペース用にする場合

※本製品が1セット、「BF-26 袖用脱着手すりブラケットN」(別売)が1セット必要です。

「BF-26 袖用脱着手すりブラケットN」(別売)の受側ブラケット1個が不要になります。

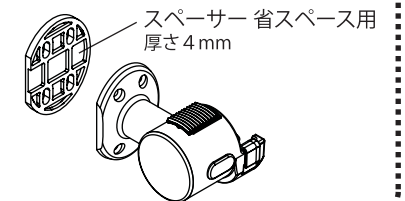
■ φ35手すり棒を取付ける場合

袖用脱着手すり棒をお使いの場合は同梱のドリルねじをお使いください。



■ φ32手すり棒を取付ける場合

- φ32アダプターを外さないでください
- 連続手すり側にBAUHAUS φ32手すり棒を使用する場合はスペーサー省スペース用をご使用ください。



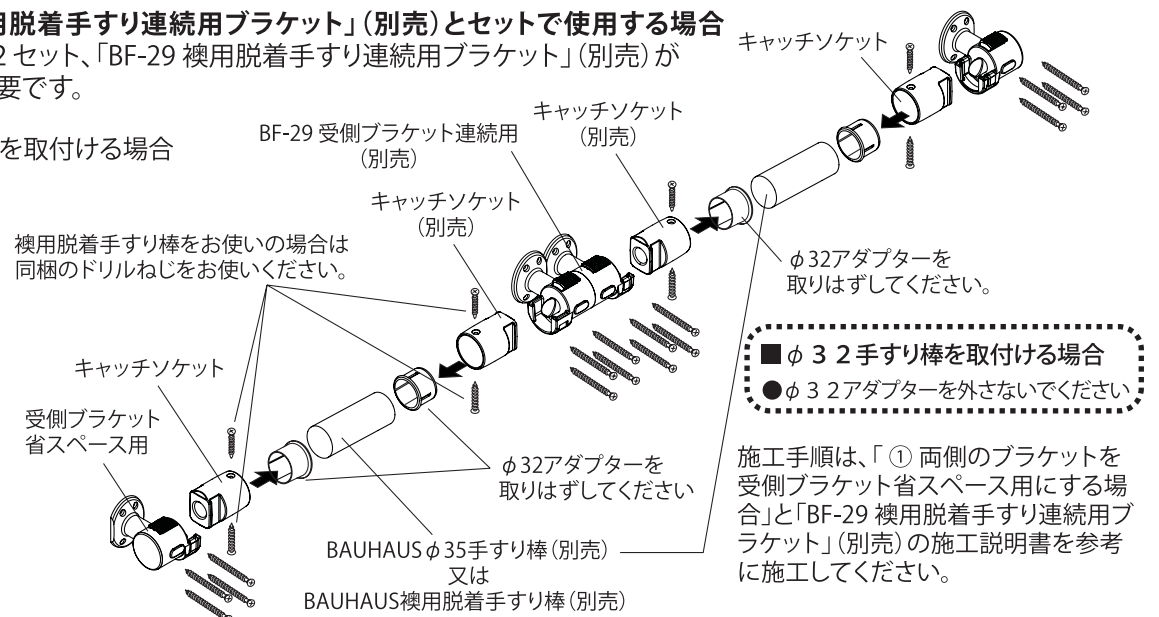
施工手順は、「① 両側のブラケットを受側ブラケット省スペース用にする場合」を参考に片側のブラケットを受側ブラケット省スペース用⇒受側ブラケットに置き換えて施工してください。

## ③ 「BF-29 袖用脱着手すり連続用ブラケット」(別売)とセットで使用する場合

※本製品が2セット、「BF-29 袖用脱着手すり連続用ブラケット」(別売)が1セット必要です。

■ φ35手すり棒を取付ける場合

袖用脱着手すり棒をお使いの場合は同梱のドリルねじをお使いください。



■ φ32手すり棒を取付ける場合

● φ32アダプターを外さないでください

施工手順は、「① 両側のブラケットを受側ブラケット省スペース用にする場合」と「BF-29 袖用脱着手すり連続用ブラケット」(別売)の施工説明書を参考に施工してください。

お問い合わせ先



商品企画部  
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号  
TEL.06-6774-2255 FAX.06-6774-2248  
<http://www.mazroc.co.jp>